

4月22日（木）

博物館で受付にいと、老人が一人入ってきました。その人は受付に来ず、「パンフレットもらうで」と言って、並べてあるパンフレット類を数枚取りました。その後、地図を見て「今、どこや？」と聞くので、博物館のある所を指さして、位置を教えました。どこから来たのかなど世間話をすると、「1年間で47都道府県回ったことがある」と言い、各地でのハプニングなどを話し始めました。半時間ほど聞いて、やっと話が終わったと思うと「その翌年には全国の離島を訪れた」と言い、その話を半時間。最初は相槌もうち、話を聞いていたのですが、もう相槌をうつ気力も聞く力もなくなりました。やっと終わったと思うと「3年目は全国の博物館や美術館めぐりをした」という話になりました。その話が終わると、今度は「不思議な話」を2つ。1つは事故を起こしたが無事だったこと、もうひとつは何だったか記憶にありません。多分、私は気を失っていたと思います。1時間半以上、その人は2秒と間隔をあけず話し続けていました。ようやく帰りました。そのときに「また来るわ」と言いました。その言葉を聞いて、私は複雑な思いでいっぱいでした。